



株式会社リングスター代表取締役
唐金 吉弘さん

耐久性に優れ 職人の現場支える プラスチック工具箱

工具箱から小物入れなどの商品を取り扱う株式会社リングスター（生駒市北田原町・唐金吉弘代表取締役）は、明治20（1887）年に鏡や木製の箱を作る木工所として大阪府大阪市に創業した。その後、スチール製の工具箱の製造を開始、今では耐久性に優れたプラスチック製の工具箱で職人らの現場仕事を支えている。今年から立ち上げたキャンプブランド「スタークアール」など、今後の展開について唐金社長に話を聞いた。

Made
in
奈良

生駒市 株式会社リングスター

「創業当時は木材の加工を
されていたんですね。」

今とは社名も違い、おがく
ずを型に入れて手鏡や小物
などを作っていました。ど
うしても手作業が多くなる
こともあり、人件費が高騰
したことなどからオートメ
ーション化する商品作りをや
つていこうと、昭和37（19
62）年ごろからスチール
製の工具箱を始めました。

その後、平成に入ろうかと
いう頃に海外からプラスチ
ック製品が多くなってきたこ
とを受け、私と先代でアメリカ
へと渡りました。そこで工具
箱の約8割がプラスチック製で
2割がスチール製という状況
を見て、日本ではまだまだス
チール製が多かったのです
が、今後は日本でもこういった
時代が来ることを確信したん
です。

そうして日本に帰ってきた
ですが、プラスチック製の工
箱を作ろうにも知識がなく、
機械もない状態でしたので
勉強も兼ねて、まずはアメリ
カからプラスチック製の工
箱を輸入し、日本で販売し
ようという話になりました。

「自社でプラスチック製の工
具箱を作り始めたのはいつ
ごろのことだったんですか。」

輸入したものを販売し始
め数年がすぎ、日本国内でも
プラスチック製の工具箱を作
るメーカーさんが出てきま
した。日本とアメリカが工
箱を作る上で、もっとも違
いがあることは使用される
単位にあります。日本はミリ
やセンチ、アメリカではイン
チで製品を作っています。そ

ため、日本で作られている
工具を入れる際に、サイズが
合わず収納できないとい
ったことが起こっていました。
それで今のままではだめ
だと思い平成2（1990）
年にプラスチック成型工場を
生駒市に開業し、社名を今
のリングスターに変更しま
した。そして約1年後、最
初に発売したプラスチック
製の工具箱「スーパーボッ
クスSR-450」は、爆
発的にヒットし、3年は作
っても在庫がでず供給が追
いつかないほどでした。

「どういったことがヒット商
品へとつながったのですか。」

いいデザイナーに恵まれた
こともあり、今もほぼ変更す
ることなく通用するデザイン
と耐久性がヒットにつなが
りました。また、スチール製の
工具箱でのお客さんがいたの
で、いい商品と作れば受け
るといふ自信がありました。

「スーパーボックス発売当
時、日本での工具箱のプラスチ
ックとスチール製品の割合は
どのくらいだったのですか。」

当時はまだ、プラスチック
製の工具箱はすぐに割れる
という先入観を持った方が
多く、スチールが9割、プラ
スチックが1割という状況
でした。今ではスチール1割
でプラスチックが9割と逆
転状態になっています。

工具箱はあまり大手が手
を出さない、割とコアな業
界です。価格競争として他
企業が安く販売し、それに
合わせ価格を横並びにして

ターゲットごとのブランドを立ち上げ キャンプ製品ブランド「スタークアール」



プラスチック製の工具箱として最初に製造された
「スーパーボックスSR-450」



昨年に立ち上げたキャンプブランド「スターク
アール」の商品

くといったこともありまし
たが、弊社では価格を下げ
ることをせず品質で商品を
売り続けました。そういう
ことをしたから今があるの
だと思っています。

「リングスターさんのロゴに
は強い思いが込められている
そうですが、これは社名をリ
ングスターに変更した際に作
られたのですか。」

星のマークを輪っかで囲む
といったロゴになっていま
す。輪は社員を表わし、「社
員みんなが星を見つめると
いう会社になりたいという意
味が込められています。こ
のロゴはスチールだけを作
っていた頃からあり、昭和
45（1970）年ごろに商標
登録も取っています。

もともとは祖父が「スタ
ー」というブランドを作り
たかったというので、星
だけのマークを特許庁に提
出していましたが、スター
という会社名が多かったこ
とから通らなかったそうです。
その後、今の形にした上で
先ほどの意味を持たせ、リ
ングスターというブランド
名が生まれました。

「現在作られている工具箱の
こだわりはこういった部分に
なりますか。」

やはり耐久性です。まず
は耐久性があって、あとは収
納力などが不随してきます。
収納力が先にきて、耐久性
があとにきてはだめなん
です。工具箱は持ち歩いて外
で使うものですので、まず
は耐久性が必要になります。

「今後の展開としてはどのよ
うなことをお考えですか。」

リングスターというブラ
ンドは職人の方たちには広
く知られています。ここ
から離れるとあまり知ら
れていません。そのため、昨
年の令和2（2020）年
4月に一般の方を対象にし
たキャンプ製品のブランド
として「スタークアール」
を立ち上げました。これは
将来に繋がるマーケットだ
と考えています。立ち上げ
たばかりで今は従来品の強
度を高めて、差別化を図
っているものが多いですが、
今後は色々な新商品を投入
し、スタークアールとして
の独自商品を作っていきます。

「ブランドごとの特徴とい
うものはありますか。」

まずブランドごとにそれ
にあった場所へ卸している
ため、購入の際に混乱が起
こらないようにしていま
す。職人向け工具箱のリ
ングスターはホームセンタ
ー、ドリームマスターは釣
り具店、スタークアールは
キャンプ用品や雑貨などを
取り扱う店になります。

釣りやキャンプなど趣味
で使うものは、仕事で使う
ものとは違い各個人ごとの
こだわりに合ったものを使
う傾向があります。そのた
め機能性の他にデザインの
変更や、今までにない色を
使用するなどの工夫を取り
入れています。

それぞれのブランドを通
じて、ユーザーの皆さまに喜
んでいただける商品を作る
ことを大切に、社会に貢献
できたらと考えています。



○創業=明治20(1887)年
○代表取締役=唐金吉弘
○従業員=60人
○資本金=3200万円
○事業内容=スチール・プラスチック製の工
具箱・タックルボックス・大型車載用ボ
ックス、キャンプ収納ボックス、ホビ
ー・手芸・ドラッグ用クリアケースな
どの製造販売
○営業本部住所=奈良県生駒市北田原町
1208-5
○電話番号=0743(72)0125
○ファクス番号=0743(72)0127



<http://www.ringstar.co.jp/>